

# 第3章 戦略で掲げる将来像と取組体系

## 1 戦略の将来像

【将来像（2030年のめざす姿）】

### 北東アジアにおけるグローバル志向のロジスティクス拠点

≪具体的な3つの拠点像≫

#### 1 アグリビジネスを支えるロジスティクス拠点

本県の強みである農林水産業をベースに、調達、生産、販売という一貫した経営ノウハウと、グローバルな視点を持った‘アグリビジネス’を育成しながら、物流ネットワークの確保、物流品質（スピード、コスト、サービス）の確保、温度帯管理等の物流高度化への対応を一層充実させるなど、ロジスティクス基盤を整備することによって、青森県、更には北日本の農林水産品等を世界の市場に送り出す拠点、アグリビジネスの立地拠点をめざします。

#### 2 国際的な物流動脈と直結したグローバル志向のロジスティクス拠点

津軽海峡を通過するアジア～北米航路や北極海航路の本船寄港、環日本海物流の拠点としての、貨物の輸出入、積み替え、在庫、流通加工、配送などに必要な機能を整備することで、青森県や北日本に立地する農林水産業、製造・加工業、物流・流通業などのグローバル化を支えるロジスティクス拠点をめざします。

#### 3 食料・資源・エネルギーに関するロジスティクス拠点

飼料穀物、バルク貨物、LNG等のエネルギー資源の拠点港湾としての実績をさらに積み上げ、食料・資源・エネルギーの安定的な確保と供給が可能な物流拠点や中継拠点を構築し、日本や世界に貢献することをめざします。

「青森県ロジスティクス戦略」では、将来像（2030年のめざす姿）として「北東アジアにおけるグローバル物流拠点化」を掲げて取組を推進してきました。

さらに具体的な3つの視点として「アグリビジネスを支えるロジスティクス拠点」「国際的な動脈物流と直結したグローバル・ロジスティクス拠点」「食料・資源・エネルギーに関するロジスティクス拠点」を提示しました。

現在、国際的に見た国内港湾の位置づけは相対的に低下しており、より広い視野を持って、ロジスティクス基盤の育成・整備を進めていくことが必要になってきています。

そのためには、国内のみならず、東アジア全域を一つの経済圏ととらえ、その中で、本県の産業や物流が持つポテンシャルを最大限に生かしていくことを重視していくことが必要です。

また、第2章でみたとおり、前戦略の推進により一定の成果が見られていることから、引き続き、同じ方向性で取組を推進していくことが重要と考えられます。

以上を踏まえ、本戦略においても前戦略で掲げた将来像を基本的に継承することとし、その実現をめざして取組を推進していきます。

短期的には、青森県総合流通プラットフォーム「AIPremium」流通サービスの構築・運用で培ってきたノウハウを生かし、更なる多様な流通ルートを確立することにより、本県産業の強みであるアグリ分野の成長を物流面から支援していきます。

また、中長期的には、国際基幹航路としての重要性が高まる津軽海峡エリアの優位性を最大限に活用し、アジア～北米航路や北極海航路を航行する船舶の寄港をめざします。

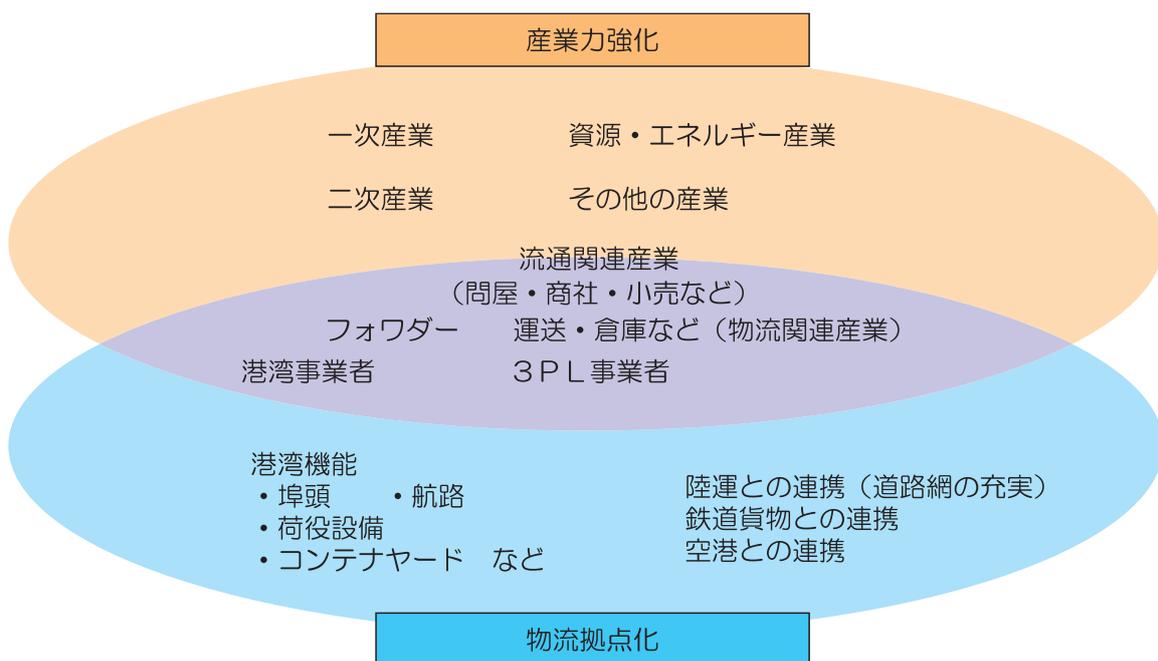
## 2 産業力強化と物流拠点化の表裏一体での推進

上記の将来像の実現に必要なロジスティクス基盤を構築するため、ロジスティクスに関連する多様な産業の充実・強化とネットワーク化を推進していく必要があります。これは、物流拠点となる港湾等とその周辺に展開する様々な産業分野が、物流・流通の担い手産業を介し、複合的に機能することで、物流・流通の活性化を図るという考え方です。

具体的には、生産者や企業の調達物流、製品物流を支える基盤として、港湾を中心とする物流機能を強化していくとともに、県内の産業振興によって貨物量を増やすこと、全国や世界から貨物が集まりやすい仕組み等を創り出すことが必要です。

この産業基盤を構築することを念頭に、それぞれの産業分野におけるロジスティクス課題の解決を促し、高付加価値化や流通拡大を図る「産業力強化」と、これをバックアップする「物流拠点化（機能強化）」を表裏一体で推進していくこととします。

推進のイメージ図



### 3 戦略の計画期間で対象とする産業分野

---

#### (1) アグリ分野

第1章で見たとおり、本県における「アグリ分野」は、豊富でバラエティに富んだ農林水産品の生産から、それらを原材料とした食品加工、さらには流通・販売まで、極めて裾野が広く、重要な産業分野となっています。

このため、本県ではこれまで、農林水産品やそれらの加工品の国内外への流通拡大に向けた「青森県総合販売戦略」と、輸出拡大に向けた「青森県輸出拡大戦略」をそれぞれ策定し、これらに基づき取組を推進してきたところですが、これらをロジスティクス面から下支えするため、青森県ロジスティクス戦略においては、「ロジスティクス課題の改善による農林水産品の国内外展開支援」を目的として、様々な取組を展開してきました。

その中の一つとして青森県総合流通プラットフォーム「A!Premium」流通サービスを構築し、主に生鮮品を中心に、国内外への販路拡大を支援してきましたが、本戦略においても、国内及び世界の国・地域との間のロジスティクス課題の改善を進めることで、本県、更には北日本の農林水産品を国内外の市場に供給することを将来像の1つとして掲げていることから、農林水産品及びそれらの加工品等を生産・流通させる「アグリ分野」を1つ目の対象分野に設定します。

#### (2) 流通関連産業分野

現在、物流業界をめぐっては、トラックドライバー不足や高齢化を始め、様々な課題が顕在化してきています。さらに、地域における共同輸配送の実現や3PLの導入、IoTやAIの活用など、今後、経済の活性化に向けた物流の最適化・効率化等の推進がますます重要となってきます。

以上を踏まえ、ロジスティクス課題の改善のため、機能の充実・強化やネットワーク化が求められる「流通関連産業分野」を2つ目の対象分野に設定します。

## 4 取組体系

- 将来像の実現に向けては、「産業力の強化」と「物流拠点化」の2つの分野で取組を推進していきます。
- それぞれの分野で中長期的な方向性を示すとともに、本戦略の期間である2019年度から2023年度までの5年間については、2つの短期的な目標を掲げ、それらの目標を実現するため、4つの取組視点の下、具体的な10の取組を提示します。

### 「青森県ロジスティクス戦略2ndステージ」取組体系

分野	短期的な取組視点と取組（2019～2023年度）	短期目標	中期的な施策展開の方向性（2019～2030年度）	2030年度における将来像
産業力強化	<b>取組視点1</b> ロジスティクス課題の改善による農林水産品の国内外展開支援 取組1 青森県総合流通プラットフォームの進化・発展 取組2 各種輸送トライアルによる物流課題の改善と新たな流通経路の確保 取組3 品目や輸送量ごとの最適な輸送手段の検討と輸出における商流の具体化支援 取組4 ロジスティクスに係る人財育成・企業支援	農林水産品の流通拡大	<b>1</b> 国際競争力のあるロジスティクス基盤の構築 (1) 立体的・重層的な物流基盤の構築 (2) ロジスティクスに関連する多様な産業の充実・強化とネットワーク化の推進	○北東アジアにおけるグローバル志向のロジスティクス拠点 1 アグリビジネスを支えるロジスティクス拠点 2 国際的な物流動脈と直結したグローバル志向のロジスティクス拠点 3 食料・資源・エネルギーに関するロジスティクス拠点
	<b>取組視点2</b> モーダルミックスや共同輸配送による物流の効率化支援 取組5 将来のトラックドライバー不足等を見据えたモーダルミックスの推進 取組6 地域における共同輸配送等に向けた取組の支援		貨物の集積と航路の充実	
物流拠点化	<b>取組視点3</b> 物流インフラのハード・ソフト両面での利便性向上による貨物の集積 取組7 県内港湾及び空港の整備促進と機能強化 取組8 県内主要幹線道路ネットワークの整備促進 取組9 定期航路・航空路線の充実による県内港湾・空港の利便性向上	貨物の集積と航路の充実		<b>2</b> グローバル志向のロジスティクス拠点化に向けた物流インフラの整備と航路の充実 (1) 北米航路・北極海航路の本船寄港を見据えたロジスティクス基盤の整備 (2) 本県港湾群の一体的運用や適切な役割分担
	<b>取組視点4</b> 北米航路、北極海航路を意識した津軽海峡エリアの利活用促進 取組10 北米航路や北極海航路の継続的研究と津軽海峡エリアの利活用方策の検討		<b>2</b> グローバル志向のロジスティクス拠点化に向けた物流インフラの整備と航路の充実 (1) 北米航路・北極海航路の本船寄港を見据えたロジスティクス基盤の整備 (2) 本県港湾群の一体的運用や適切な役割分担	

## 5 将来像イメージ図



注1) データの出所は各国の統計所管省庁が公表する統計資料。

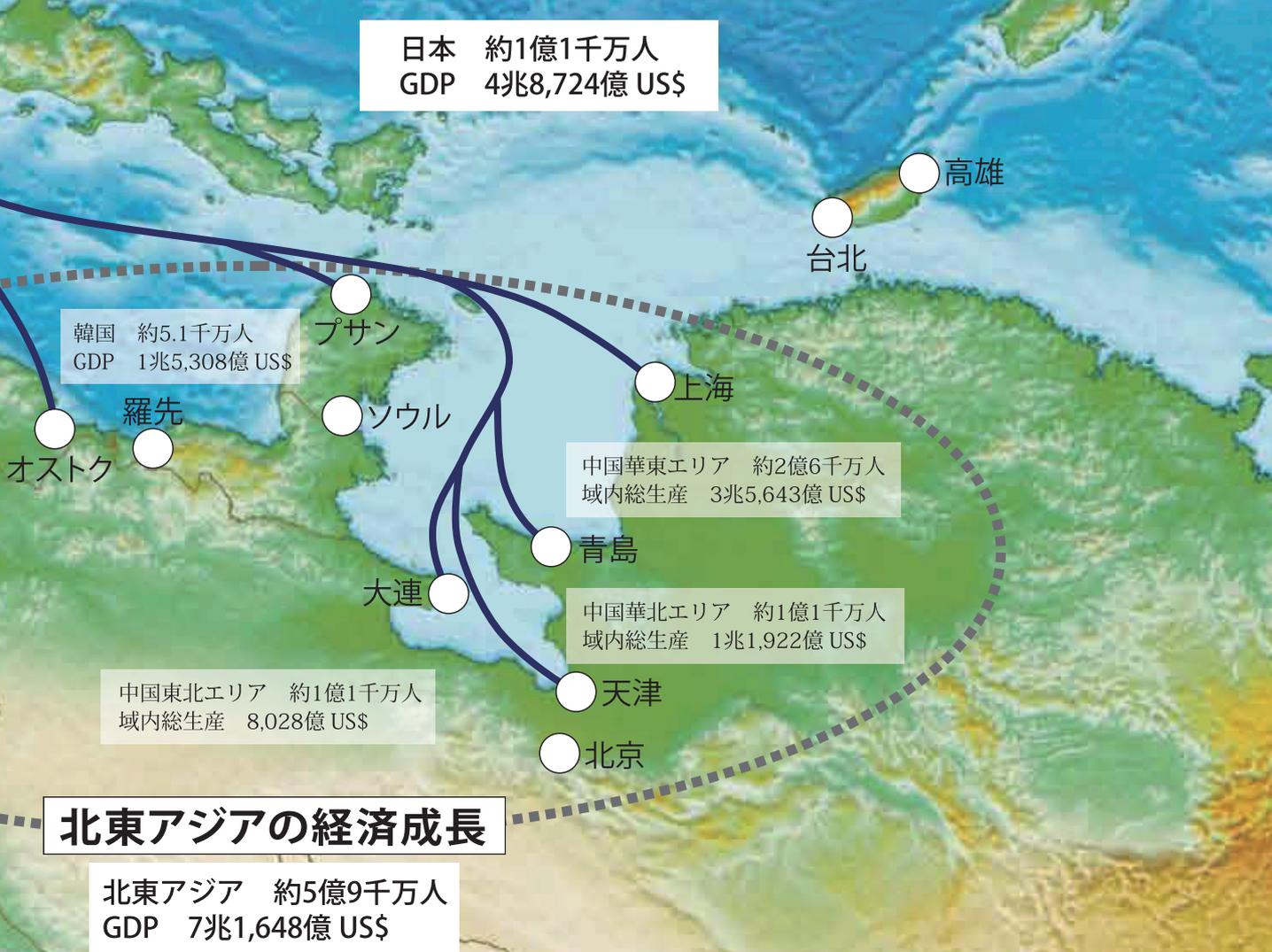
注2) 人口、GDP、域内総生産のいずれも2017年のデータ。ただし、ロシア極東連邦管区の域内総生産のみ2015年のデータ。

# 北東アジアにおけるグローバル志向のロジスティクス拠点

アグリビジネスを支えるロジスティクス拠点

国際的な物流動脈と直結したグローバル志向のロジスティクス拠点

食料・資源・エネルギーに関するロジスティクス拠点



## 北東アジアの経済成長

北東アジア 約5億9千万人  
GDP 7兆1,648億 US\$

注3) GDP、域内総生産は名目値。

注4) 中国東北エリアは遼寧省、吉林省、黒竜江省の合計、華北エリアは北京市、天津市、河北省の合計、華東エリアは上海市、山東省、江蘇省、浙江省の合計。